

第2学年 体育科学習指導案

令和元年11月7日（木）第5校時 体育館

1 単元名 しゅぎょうだニンニン！すかげっ子にんじゃ

（器械・器具を使つての運動遊び・マットを使った運動遊び）

2 運動の特性

（1）一般的特性

- マットの上で、いろいろな回り方や動き方を工夫して楽しむ運動である。得意な回り方で上手に回り、新しい回り方や動き方に挑戦したりして楽しめる運動である。
- 友達と協力して準備や活動をすることや、きまりを守って遊ぶことのよさを体験できる運動である。

（2）児童から見た特性

マット遊びの楽しさや喜びを感じる要因	マット遊びを遠ざける要因
<ul style="list-style-type: none">・いろいろな回転に挑戦したり、いくつかの技を組み合わせて調子よくできたりするとき・友達と調子を合わせて回ったり動いたりするとき	<ul style="list-style-type: none">・運動量が少なくなるとき・いろいろな動きができないとき・できない児童にとって技を失敗して怖さや痛みを感じたとき

3 児童の実態（※一部省略）

（1）技能

1年生のマットを使った運動遊びでは、動物歩きやゆりかご、川跳び、前転がり、後ろ転がりなどいろいろな技を楽しみながら経験してきた。しかし、前転がりや後ろ転がりではマットに手を着かずに転がっていたり、膝から着地していたりする児童も多い。また、川跳びでは足の裏で着地ができなかったり、滞空時間が短かったりすることから、逆さ感覚や支持感覚が十分に身に付いていない児童も多い。

（2）態度

本学級の児童は、活発で外遊びをしたり体を動かしたりするのが好きな児童がほとんどである。休み時間には、おにごっこやサッカー、一輪車など、元気に外遊びをしている。

体育の授業においても、意欲的に活動できる児童が多い。ほとんどの児童は、できないことがあっても諦めずに何度も挑戦し、できるようになった喜びを味わうことができた。しかし、できないと感じて諦めてしまう児童や、楽しいことに夢中になり周りが見えずに指示を聞けなかったり、きまりを守れなくなってしまったりする児童も少なからずいる。

（3）思考・判断

与えられた課題には、意欲的に取り組むことができる。学習の中で友達のよいところを見付けたり、技のポイントを見付けたりする児童は限られている。自分の気持ちや考えを自分の言葉で伝えることが苦手な児童が多い。

【体育に関する意識調査より】

	好き	まあまあ好き	あまり好きではない	好きではない
1 運動は好きですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・ボールを投げるのが好き ・いろいろなできるようになる ・体力をつけられる ・みんなでやると楽しい ・サッカーが好き 			
2 体育の授業は好きですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・うまくいったら「ナイス」と言ってもらえて嬉しい ・試合などボールのゲームが好き ・いろいろな道具を使って運動できる ・いろいろな動きなどが上手になる ・みんなで仲良くできる ・ドッジボールができて楽しい ・できることが増える ・体力をつけられる ・汗をかくのが好き 			
3 マットの運動は好きですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・マット運動が得意 ・ゆりかごが好き ・ずっとやっているとおもしろくなる ・体が丈夫になる ・前転がりが楽しい ・アザラシ歩きが楽しい ・ころころするのが楽しい ・みんなで楽しくできる 			
4 マットではどんな技ができますか。	①くま歩き	②アザラシ歩き	③うさぎとび	
	④川跳び	⑤丸太転がり	⑥前転がり	
	⑦ゆりかご	⑧後ろ転がり	⑨かえるの足打ち	
	⑩ブリッジ			
5 2年生のマット運動では、どんなことをやってみてみたいですか。	<ul style="list-style-type: none"> ・やったことのない技（逆立ち、側転、手押し車） ・できない技をできるようにしたい ・後ろ転がりを上達させたい、連続でやってみたい ・ブリッジを上達させたい、足をあげられるようになりたい ・マットをつなげて得意な技をやってみたい ・みんなでタイミングを合わせて技をやってみたい ・得意な技の発表会をしてみたい 			

意識調査からは、ほとんどの児童が運動や体育で体を動かすことが好きであることがわかる。また、友達と関わり合いながら活動するよさを感じている児童も多く、マットの運動への苦手意識をもっている児童は少ない。一人一人が「できる」と感じている技も多く、もっとやってみてみたいという前向きな意欲ももっていることがわかる。

4 教師の指導観

(1) 技能

日常生活ではあまり経験することがない、転がる・逆さまになるといった感覚を大切にしたい運動である。マットを使った運動遊びであるため、児童にマット運動の楽しさ・面白さを感じさせ、今後、学習する様々な技の基礎になることを意識して感覚を身に付けさせたい。そこで、児童が楽しく運動遊びができるように「忍者」をテーマとした。忍者となって様々な「修行」の場で友達と関わり合い楽しみながら回転感覚、逆さ感覚、支持感覚を身に付けさせたい。マットの

技は「術」として取り組ませ、感覚づくりの運動では、技の基礎となる動物歩き、ゆりかご等を取り入れる。1時間目のオリエンテーションでは、学習の進め方や学習カードの使い方、練習する場の準備・片付けの仕方や場の使い方をしっかりとおさえる。2～4時間目の各技の練習では、経験の少なさから恐怖に感じてしまうことでマット運動が苦手にならないよう、児童の実態に応じたさまざまな動きの場を用意し、どの児童にもやってみたいと思わせるよう工夫したい。5・6時間目では、これまでに学習した技（術）を様々な場（忍者ランド）で行わせ、自分のできるようになった技（術）をさらに上達させたり、苦手な技（術）を修行させたりして、一人一人の技能の向上を図りたい。

（2）態度

運動の中でのきまり、準備をするときのきまり等、安全で楽しく活動するための約束を徹底させたい。また、言われて嬉しくなる言葉を使って、友達同士で技のアドバイスや励ましの声をかけ合うようにさせ、運動に対する意欲を向上させられるようにしていく。楽しく活動できる教具や、様々な場を用意することで、意欲をもって取り組めるようにしたい。振り返りでは、自分の学びの中でできるようになったこととできるようになりたいことを明確にさせ、次の学習への意欲につなげていく。

（3）思考・判断

体育の見方・考え方を働かせ、マットを使った運動遊びの楽しさを体感させたい。そのために、自分で術を修行する「すること」、友達の術を「見ること」、友達のよい動きを見つけたり、アドバイス等の声かけをしたりする「支えること」、場に応じた練習方法や技のポイントを「知ること」に繋がる学習過程とした。その中で、子供たち同士の見合い・学び合いの時間を大切に、友達のよい動きを伝えるようにさせる。また、自分で選んだ場で技（術）を練習したり、楽しんだりできるようにさせ、単元の最後には、修行の中で自分が選んだ場で身に付けた技（術）を発表させる。

5 単元の目標

（1）マットを使った運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりすることができるようにする。 **【関心・意欲・態度】**

（2）いろいろな場のマットを使った運動遊びを知り、簡単な遊び方を工夫できるようにする。

【思考・判断】

（3）マットを使って、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転などの動きを身に付けることができるようにする。 **【技能】**

6 単元の評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	技能
単元の評価規準	マットを使った運動遊びに進んで取り組み、きまりを守り仲よく運動したり、場の安全に気を付けたりしようとしている。	いろいろな場のマットを使った運動遊びを知り、簡単な遊び方を工夫している。	マットを使って、いろいろな方向への転がり、手で支えての体の保持や回転などの動きを身に付けている。
学習活動に即した評価規準	①学習の進め方を知り、進んでマットを使った運動遊びに取り組もうとしている。 ②運動の順番やきまりを守り、友達と仲よく運動しようとしている。 ③運動する場やマットの使い方などの安全に気を付けたり、友達と協力してマットの準備や片付けをしようとしていたりしている。	①マットを使った運動遊びの行い方を知るとともに、マットを使って楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選んでいる。 ②練習の中で、マットを使った運動遊びの動き方を知るとともに、友達のよい動きを見付けている。	①両手で体をしっかりと支えることができる。 ②マットに手を着いて背中を順番に接触させたり、いろいろな方向に転がったりすることができる。

7 単元の計画

(1) 領域(器械運動系)の取り上げ方

学年	マット運動系	鉄棒運動系	跳び箱運動系
第1学年	マットを使った運動遊び 6時間	鉄棒を使った運動遊び 4時間	跳び箱を使った運動遊び 5時間
第2学年	マットを使った運動遊び 7時間	鉄棒を使った運動遊び 5時間	跳び箱を使った運動遊び 6時間
第3学年	マット運動 8時間	鉄棒運動 8時間	跳び箱運動 7時間
第4学年	マット運動 8時間	鉄棒運動 5時間	跳び箱運動 7時間
第5学年	マット運動 6時間	鉄棒運動 4時間	跳び箱運動 7時間
第6学年	マット運動 6時間	鉄棒運動 3時間	跳び箱運動 6時間

(2) 運動種目(マット運動系)の取り上げ方

学年	教材	目指す動き
第1学年	マットを使った運動遊び	【回転系】・ゆりかご ・丸太転がり ・前転がり ・後ろ転がり
		【倒立系】・ブリッジ ・かえるの足打ち ・支持での川跳び
第2学年	マットを使った運動遊び	【回転系】・丸太転がり ・前転がり ・後ろ転がり
		【倒立系】・背支持倒立 ・壁登り逆立ち ・かえるの逆立ち
第3学年	マット運動	【回転系】・前転 ・後転 ・開脚後転
		【倒立系】・壁倒立 ・腕立て横跳び越し
第4学年	マット運動	【回転系】・大きな前転 ・開脚前転
		【倒立系】・補助倒立 ・頭倒立 ・側方倒立回転
第5学年	マット運動	【回転系】・安定した前転 ・安定した後転 ・跳び前転
		【倒立系】・安定した壁倒立 ・側方倒立回転
第6学年	マット運動	【回転系】・倒立前転 ・跳び前転 ・伸膝後転
		【倒立系】・倒立 ・倒立ブリッジ ・ロンダート

(3) 指導の評価の計画【別紙】

8 本時の学習(6/7時)

(1) ねらい

マットを使った運動遊びの行い方を知るとともに、マットを使って楽しく遊ぶことができる場や遊び方を選んでいる。【思考・判断】

(2) 準備

- ・マット ・踏み切り板 ・玉入れの玉 ・ケンステップ ・タブレット端末 ・例示の拡大図
- ・学習カード

(3) 展開

段階	学習内容・活動	指導上の留意点(○指導 ◆評価規準)
導 入 13 分	1 集合・整列・健康観察・挨拶をする。	○しっかり整列させ元気よく挨拶ができるようにする。 ○表情や顔色から健康状態を把握・確認するとともに、服装の確認もする。 ○前時を振り返り、学習した術等を思い出させ、本時の意欲に繋げるようにする。
	2 準備運動をする。	○音楽を使ってリズムに合わせて行わせ、各部位の動きが高まるように声かけをする。
	3 感覚づくりの運動をする。 ①ゆりかご ②アンテナ (背支持倒立)	○全体で一斉に行わせ、動きのポイントをしっかりと意識させる。 ○声を合わせて楽しい雰囲気で行うようにする。
		①ゆりかご…ひざを抱える、大きく、ペアでタッチ、みんな合わせて ②アンテナ…つま先までピン、アンテナからの後転

展 開 22 分	4 本時のねらい・学習内容を確 認する。	○全員で協力して、素早く安全にマットの準備をさせ る。
	5 忍者ランドで修行の場を選 ぶ。	○前時までに学習した術（技）を振り返り、学習カード を活用したり、グループの児童と話し合ったりしなが ら自分に合った場を見付けさせる。

しゅぎょうの場をえらんで、にんじゃマスターを目ざそう！

<忍者ランド>		
<p>【ころころ村】</p> <p>①どうぶつのしま （どうぶつ歩きのじゅつ）</p> <p>②ころころさか道 （ころがりのじゅつ）</p> <p>③ほそいつうろ （前・うしろころがりの じゅつ）</p>	<p>【ぴよんぴよん村】</p> <p>④ふかい川 （川とびのじゅつ）</p> <p>⑤かえるの池 （かえるの足うち、か える逆立ちのじゅつ）</p>	<p>【さかさま村】</p> <p>⑥たかいかべ （かべさか立ちのじゅつ）</p> <p>⑦なかよし広場 （なかよしころがりのじゅつ）</p>

展 開 22 分	6 忍者ランドで修行する。	○児童同士で良い動きやアドバイスを伝え合い、楽しく 運動できるようにさせる。
	<p>修行1</p> <p>・自分が選んだ場で練習をす る。</p> <p>修行2</p> <p>・自分が選択した場で練習する （修行1と同じ場でも、違う場 でもよい）。</p>	<p>○うまく転がれない児童には、掲示物や上手な児童を見 させたり、ゆりかごで感覚を身に付けさせたりして練 習をさせる。</p> <p>○お手本となる動画をタブレット端末で繰り返し再生 し、いつでも自分や友達の動きをお手本と比べたり、 さらに上達するために動きを考える材料にしたりでき るようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>◆マットを使った運動遊びの行い方を知るとともに、 マットを使って楽しく遊ぶことができる場や遊び方 を選んでいる。（観察・学習カード）【思考・判 断】</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>△努力を要すると判断される状況（C）の児童への指 導の手立て</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまでの学習カードを参考に、どの場で練習する か選ぶよう助言する。 <p>◎十分に満足できると判断される状況（A）の児童の 具体的な姿</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達に声をかけながら楽しんで活動に取り組み、場 に合った練習の仕方を理解し、自分の遊び方を工夫 </div>

		している。
整理 10分	<p>7 本時のまとめをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習カードの記入をする。 ・本時の学習をめであてに沿って振り返る。 <p>8 整理運動、挨拶をする。</p> <p>9 片付けをする。</p>	<p>○本時の振り返りを学習カードに記入し発表させる。</p> <p>○疲れを残さないように、つかった部位をほぐさせる。</p> <p>○本時の頑張りを賞賛し、次時の見通しをもたせて意欲付けを行う。</p> <p>○しっかりと整列させ、元気よく挨拶させる。</p> <p>○友達と協力し、安全に用具の片付けを行わせる。</p>

【場の設定】

